

# 予算質疑 あれこれ

～どうなる予算？ここが聞きたい！～

新年度の予算案を審査する「予算審査特別委員会」での質疑内容から私たちの生活に直接影響のあるものを中心に一部を抜粋してご紹介します。



## 令和6年度予算のポイント

### 当初予算総額539億5,207万円（一般会計369億1,200万円）

- 南海トラフ地震を想定した大規模災害への対応 … 12億3,155万円
- 子育て支援強化 ……………… 11億5,457万円
- 大阪・関西万博2025関連予算 ……………… 4億4,944万円

## 少子化対策

問 令和5年度の出生数は。  
答 3月中旬時点で158人です。

問 少子化対策で第2子以降に出産祝い金を支給する「赤ちゃん未来の宝物事業助成金」で第4子以降の助成金（第4子50万円、第5子以降100万円）を従来までの分割支給から、一括支給に切り替えた理由は。

答 多子世帯への子育て応援と定住促進が平成29年度当初の制度設計でしたが、コロナ禍以降の長引く物価高騰の影響を受ける多子世帯の経済負担を軽くすることを目的とし、全額一括支給とすることにしました。

問 既に第4子、第5子の出産で支給を受け、残りの支給がある世帯に対する対応は。  
答 5年度に残りの金額を一括で支給します。

## 子どもたちの学びのために

問 教職員の負担軽減のための対策は。  
答 兵庫県の補助金を活用して「スクール・サポート・スタッフ」を配置します。同スタッフはプリントの印刷や電話対応等の教員が必ずやらないといけない業務以外の事務を担います。

問 全国的に増加する不登校児への支援は。  
答 兵庫県の補助制度を活用して「校内サポートルーム」を設置し、自分のクラスに入りづらい児童生徒に対し、落ち着いた空間で学習支援や生活支援を行います。市内の全中学校と志筑・浦小学校に配置します。

## 大規模災害への備えは

問 大規模災害への備えとして防災用品を全戸配布する「大規模災害への備え啓発事業」はどのようなものか。

答 市オリジナルのカタログを作成し、5,000円相当の防災用品を自由に選んでもらう形式を考えています。防災用品は非常食、簡易トイレ、モバイルバッテリー、家具等の転倒防止金具等を現在選定中で、9月の防災の日までにカタログを全世帯に届ける予定です。

問 全世帯から申し込みをいただかないと本事業の意味がなくなる。どのような対策を講じるのか。

答 市のホームページや広報紙だけでなく、町内会や老人会等の地域コミュニティの協力も仰いで周知を図ります。

問 身近な避難所整備事業補助金として、一施設につき上限150万円はどのような補助を行うのか。

答 町内会が所有している集会所等を災害避難所として登録し、空調設備やトイレの改修、バリアフリーなど避難所としての機能強化を補助対象とします。なお、令和6年度から令和8年度までの3カ年、4億5,000万円の支出を考えています。

問 大規模災害時に二次避難所となる小中学校体育館の空調設備の整備も必要ではないか。

答 空調整備においては、多額の費用を要することから実施していませんが、コロナ禍での対応として換気設備は設置しています。

## 世界的観光立島への取組は

問 大阪・関西万博への取組は。

答 シティプロモーション事業や海路の実証実験事業など総額約4億4,940万円の事業を実施予定です。

問 大規模な予算を投入するインバウンド対策の目標設定は。

答 観光客全体の入り込み客数としては、令和4年度の880万人から900万人に、そして観光消費額としては、6.8億円の増加を目指したいと考えています。

問 昨年の夏祭りでは渋滞も引き起こしていわゆる観光公害の側面も出ている。花火大会は夏という固定観念にとらわれず、秋や冬に行い閑散期に人を集めるとても手ではないか。

答 夏祭りは実行委員会として決めているので、そうした考えも参考にはなると思いますので、意見として実行委員会に伝えます。また、ガードマンの増員や駐車場の確保等のために従来の約2倍の予算を設けています。



問 昨年度も実施した須磨港と翼港・津名港の海路実証実験だが、アンケート結果は。

答 177人中、170人は良かったと回答しています。その中では「時間、料金が適當」「友人などにも紹介したい」等の声がありました。

問 来島してもらった後の観光客の移動はどのように考えているのか。

答 自転車客以外には、前回もマイクロバスを用意し市内を周遊してもらいました。今後民間事業者に引き継げるようなモデルを構築していくかと考えています。

問 現在、周遊パックツアーよりもマイクロツーリズムが主流となっている。継続的な事業になるのか。

答 船舶事業者と旅行代理店との協業モデルの可能性もあります。またフリー客向けには、カーシェアリングなどを検討していかねばと考えています。